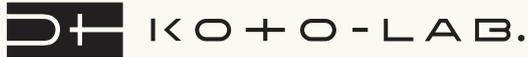




D+ KOTO-O-LAB.

「マチづくり」を、「モノづくり」ではなく、
「コトづくり」からはじめる会社です。

コトラボ合同会社



「まちづくり」を、「モノづくり」ではなく、「コトづくり」からはじめる会社です。

コトづくりからのまちづくりを考える視点を持ち、
地域の埋もれたアセットを活用し、
地域コミュニティの課題を改善する事業を行なっています。

地域の資源を活用して街に新しい産業を創り出しながら、街に新しい人の流れや新しいイメージを付加させ地域の活性化させる事業を行っています。通常、国や行政が行うべき内容のものでも、寄付や補助金に頼るのではなく、主体はあくまで自主事業による収益をもとに持続的な運営を行いつつ、行政と対等に連携した形で地域づくりを行なっています。



エリア再生 横浜寿町



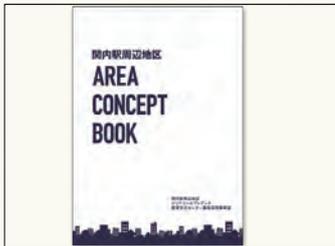
空き家バンク、エリアブランディング



担い手支援・コミュニティづくり



滞留空間づくりの実証実験



まちづくりガイドラインの作成支援



シェアカフェ運営



古建築活用+仕組み作り



ヨコハマホテルヴィレッジ+屋上グランピング

地域の埋もれた資源の発見・有効活用

→地域の資源を新たな視点で活用する

新しい見方を提示→新たな価値づくり

→今までのイメージや価値観にとらわれないイメージづくり

持続的な運営体制をつくる

→持続させるための
資金をつくる事業づくり

■代表者プロフィール

岡部友彦（おかべともひこ） 代表

2021年 地域づくり表彰 国土交通大臣賞受賞（三津浜地区賑わい創出実行委員会として）
 2019年 自治会学会賞* 田村明まちづくり賞* 受賞
 2016年 横浜市立大学非常勤講師
 2014年 立教大学兼任講師（2016年まで）
 2012年 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士後期課程単位取得退学
 2011年 関内イノベーションイニシアティブ株式会社 取締役就任
 2010年-2011年 isb 公共未来塾起業支援委員会 委員長就任
 2009年 NPO 法人 アクションポート横浜 代表理事就任
 2008年 横浜文化賞文化・芸術奨励賞
 2007年-2009年 ヨコハマ市民まち普請事業審査委員
 2007年 内閣府地域活性化伝道師
 2007年 コトラポ合同会社 設立
 2004年 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士前期課程修了

■出版

まちづくりの仕事ガイドブック	共著	2016年9月	学芸出版社
日本のシビックエコノミー	共著	2016年2月	フィルムアート社
まち建築	共著	2014年5月	彰国社
OURS: 居住都市メソッド	共著	2008/12/1	INAX 出版
創造性が都市を変える	共著	2007年5月	学芸出版社
10+1 Ten Plus One No.45 都市の危機／都市の再生	一アーバニズムは可能か？		
	共著	2006/12/1	INAX 出版
建築雑誌「増値する建築甦る地域」	共著	2006/7/1	日本建築学会学芸誌
10+1 Ten Plus One No.38 建築と書物	共著	2005/4/1	INAX 出版
10+1 Ten Plus One No.32 80年代建築 / 可能性としてのポストモダン	共著	2004/9/1	INAX 出版
10+1 Ten Plus One No.31 コンパクトシティ・スタディ	共著	2003/7/1	INAX 出版

他、建築ジャーナルにて2014年1月から2015年12月まで隔週連載

■海外招聘視察、海外事業家交流

2013 2月 日印社会起業家交流事業	招聘先	国際交流基金
2011 7月 Social Innovation in Seattle	招聘先	iLeap
2011 3月 イギリスソーシャルイノベーションツアー	招聘先	The British Council Japan
2010 9月 DTA 年次総会 講演	招聘先	DTA
2009 3月 イギリス視察研修	招聘先	The British Council Japan

uk Arts for community development and regeneration

■講演・シンポジウム

*一部抜粋
 2019年11月 韓国講演
 2019年7月 韓国講演
 2019年3月 愛媛県大洲市講演
 2018年2月 横浜市南区講演
 2017年11月 埼玉県講演
 2017年7月 長野県高遠韓国講演
 2017年6月 韓国講演
 2017年3月 今治講演
 2017年2月 神奈川住まいまちづくり協議会
 2017年1月 共創オープンフォーラム（モデレーターとして登壇）
 2016年7月 韓国光州講演
 2016年6月 燕三条講演
 2016年6月 韓国ソウル講演
 2015年2月 韓国講演
 2015年1月 岐阜県美濃加茂市講演
 2014年9月 富士通総研
 2014年4月 韓国講演 仁川文化財団
 2013年11月 韓国講演 Science & Creativity Annual Conference 2013 基調講演
 2013年3月 韓国講演
 2013年1月 富士通総研
 2012年12月 かながわ円卓会議
 2012年11月 出雲まちづくり団体での講演
 2012年10月 韓国講演 仁川文化財団、プジョン文化財団
 2012年6月 韓国仁川 アジアにおける歴史・文化による中心市街地再生の可能性
 2011年11月 韓国インチョンにて講演
 2011年9月 韓国済州島にて Asia NGO Innovation Summit に参加
 2011年5月 韓国ソウルにて講演
 2010年9月 イギリス DTA 年次総会にて講演
 2009年5月 ヨコハマクリエイティブシティセンター開館記念フォーラム
 （田中弥生氏、逢坂恵理子氏、加藤種男氏と共に）
 2009年3月 ヨコハマユースフォーラム 横浜市経済観光局
 2009年3月 関西大学 第3回丹波公開講座
 2009年3月 国際経営者協会 コミュニティ再生委員会
 2009年3月 シンポジウム「社会的企業が拓く日韓の新たな出会い」（国際交流基金）
 2009年3月 トウキョウ建築コレクション2009 プロジェクト展
 2008年12月 住まい・まちづくり活動推進協議会シンポジウム
 （北川フラム氏、池田修氏、本田孝義氏と共に）
 2008年11月 北九州市 ヒューマンメディア財団
 2008年11月 横浜クリエイティブシティ・シンポジウム2008
 第31回 Non-Purpose
 2008年5月 アートのかでまちを変える 会場：横浜開港資料館講堂
 2008年3月 横浜のコミュニティビジネスの未来を読む 会場：横浜情報文化センター
 2008年2月 コミュニティ・ア・キテクト研究会「ソ・シャルデザインと地域再生」
 2007年12月 JICA 地球ひろば 世界銀行情報センター（PsIC 東京）共催ト・クサロン
 2007年11月 中小企業診断協会 東京支部「まちづくり研究会」
 2007年11月 US-JAPAN Innovators network
 2007年11月 住宅特集 まち居住 2007 CASE001: ドヤ 横浜市中区寿町インタビュー
 2007年5月 シンポジウム「社会変革のデザイナー-たち~日米イノベーター-と語る、
 2007年1月 個人を動かす仕組みとイノベーション」慶應義塾+ジャパン・ソサエティ
 2006年 内閣府 地域再生至強勉強会

他大学にて講演 横浜国立大学、横浜市立大学、東京理科大学、立教大学、慶応大学 SFC、明治大学、明治学院大学、東京工業大学、駒澤大学、神奈川大学、日本大学、愛媛大学、共栄大学、東海大学、昭和女子大学など

横浜でのプロジェクト



地域資源を活用した旅行者向け宿泊事業



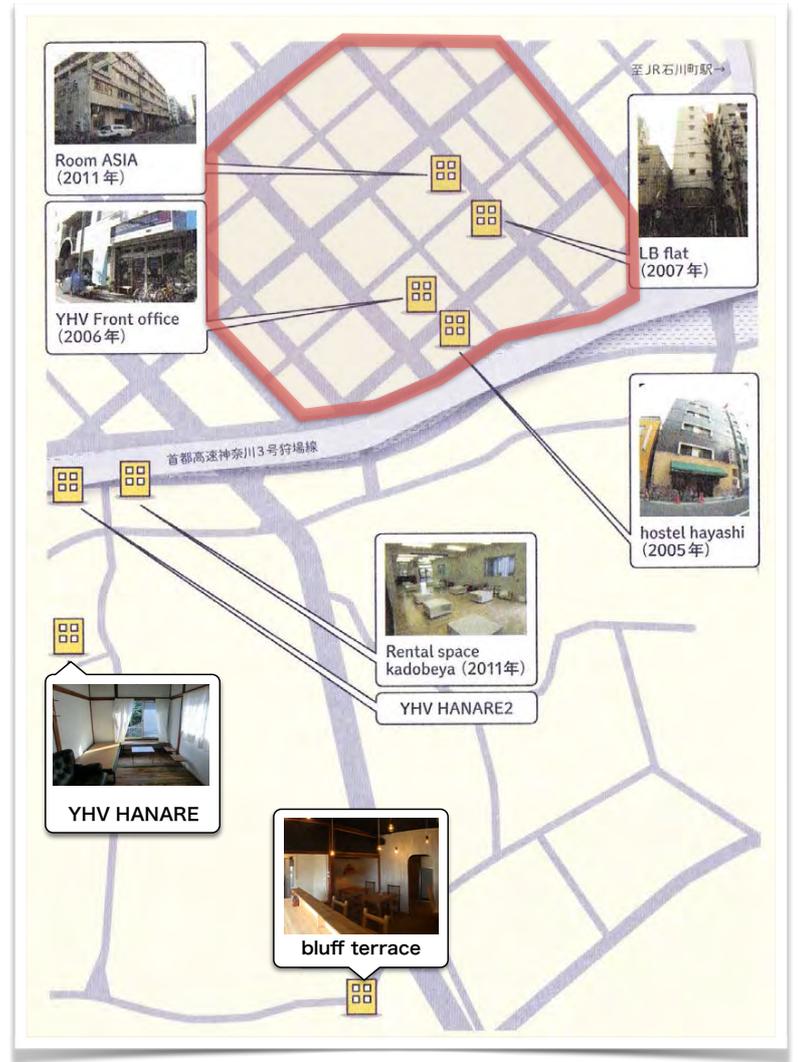
大学と連携した拠点運営事業



生活保護受給者のエンパワメント事業



スモールビジネス支援+シェアハウス



YOKOHAMA HOSTEL VILLAGE

THE NO.1 LONG-ESTABLISHED HOSTEL IN YOKOHAMA

【地域資源を活用した宿泊事業】



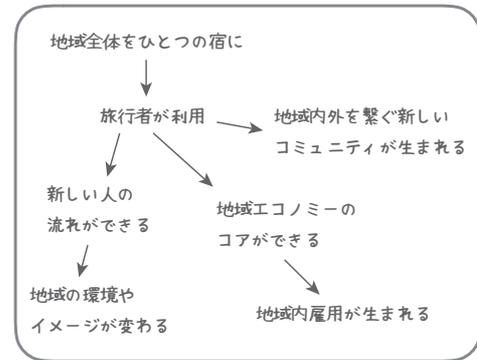
YOKOHAMA HOSTEL VILLAGE

地域の使われていない資源（空部屋）をつなぎ合わせ、かつ地域の食堂や銭湯などを含めて地域全体で一つの宿泊施設を構築。新しい事業をつくり、地域コミュニティの活性化を図る。また、事業を通して地域に定住する人達の住まいの提供も行っている。

宿事業でまちづくりを行なった先駆的事例として脚光を浴びている。

DATA

創業	2005年
部屋数	60部屋
年間利用者数	延べ1万人／泊
国内外比	60：40



— 地域の空き部屋を集めて、一つの宿泊施設をつくりだす —



YOKOHAMA HOSTEL VILLAGE

THE OLDEST ESTABLISHED HOSTEL IN YOKOHAMA

コロナ禍で旅行者がやってこなくなったヨコハマホテルヴィレッジの屋上をグランピング空間として活用。



BEAN STALK

YOKOHAMA HOSTEL VILLAGE

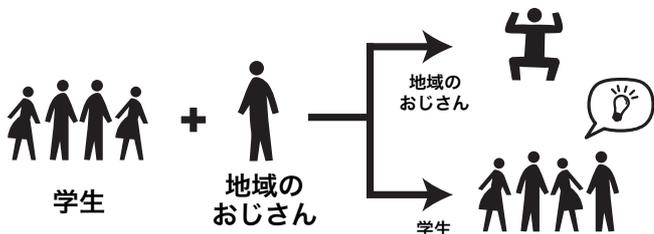


マイクロツーリズムの空間として
BBQ や焚き火が行える場所に。

【実践知を行うフィールドとして寿町を活用】



社会問題の多いこの地域を学生達の学びの場と捉えて、実体験を通した学びの場を構築する。学生達が地域へ関わることで地域に新しい風を入れ込む。



若者との交流でやる気や意欲を高める
出番づくり、やり甲斐

地域に関わり、実体験を通して社会の
問題に向き合い、気づきを得る。

— 大学の外に社会を実体験する大学をつくる —



大学の授業フィールドとして使用

↓
現在、慶應義塾、立教、横浜国立大学、
駒澤大学のゼミが参加

+



レンタルスペースとして地域に貸出

↓
レンタル料で運営資金を捻出



学生が街に入り込む
to make the flow of students
住人の気持ちを前向きに
to make positive mind
新しい地域イメージをつくる
to create new city image

【社会的弱者の環境サポート+社会コストの削減】



前向きな気持ちを促進する環境づくり
+
生活保護費など社会コストの削減
を組み合わせた居住環境プロジェクト



3倍以上の面積とクリエイターによるデザインされた住環境

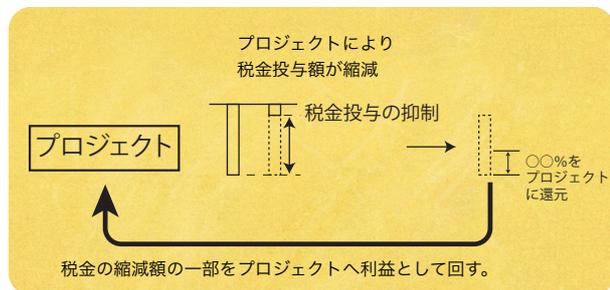
空き家を活用することで、家賃コストは40%縮減

アルバイトなど出来る範囲での就労活動。



無理なく生活保護費を縮減していく

100%生活保護費の生活から半福祉半就労の生活へステップアップ



より良い住環境を提供
to provide better environment

社会コストの縮減
to reduce social cost

社会復帰へのステップとして
to support for rehabilitation

ミツハマル事業 愛媛県松山市三津浜地区におけるにぎわい創出事業

地域づくり表彰 国土交通大臣賞受賞

三津浜地区に地域情報スペースを運営しつつ、地域のニーズを模索、空き家バンクをつくり移住者の受け入れを行う。

松山市より地域活性化事業を2012年度より受託。松山支店を設置し、常勤スタッフを置き事業を行っている。



三津浜
町家バンク
Mitsuhamama Machiya Bank
www.mitsuhamamaru.com

町家バンク実績

→ 2013年より10年間で100件の移住者

地域の空き家活用事業

旧濱田医院は大正時代に建てられたレトロな洋館。
空き家となり朽ち果てていたところを2016年に再生
させお店をオープン。

年々増えていく空き家問題に対し、地域の資源として
扱うことで地域活動に資金源を作り出し、持続的な
まちづくり活動の原動力へと変える取り組み。

2017年 松山市松山市街並み景観賞を受賞

<http://mitsu-hamada.com>



コミュニティアセット化計画

空き家問題はもはや個人の問題ではなく地域の問題となっている。地域で空き家を管理・運営していくコミュニティアセット化を検討。地域のメンバーが出資し改修、完成後サブリース事業を行い出資金を返還。その後の利益をまちづくり事業の資金源へ充てていく。

~~個人の問題~~

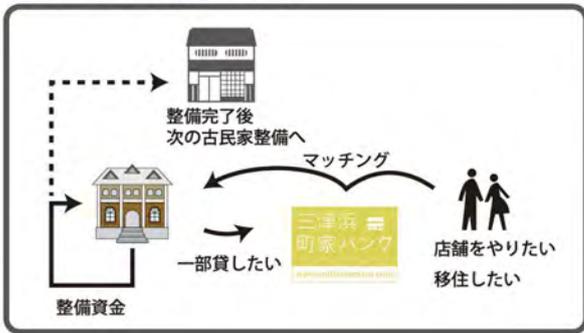
空き家問題



地域の問題

コミュニティアセットとは

地域コミュニティによって所有、管理される土地や建物のことであり、地域を良くする活用を通して利益を生み出す資産のこと。





iroiro 三津浜



旧精肉店だった建物を1Fをカフェ兼フロントとして4客室を備えた宿泊施設に。iroiro 三津浜と連携してワーケーションやお試し移住の拠点に。





IROLI30

MITSUHAMMA



古民家の保全活用を目的として築100年の蔵を
コワーキング&コリビングスペースとして利活用。



次世代のプレーヤーである若手メンバーの結束を強めながら、エリアに新たなイメージを作り、求心力を取り戻す。

お金と手間をかけずに月一の定期イベントを開催。





参加者募集

参加費無料
9/12締切!!

事前説明会開催!

参加しようか悩んでいる方、
どんなことをするのか聞いてみたい
方など、是非この機会にご参
加ください!!

9/12(土) 13:00-15:00
会場：
シェアカフェ☆イエイオー
下記の申込フォームからお申込
みください。

申込フォーム

開催日時 9/26(水)10/24(水)11/28(水)12/19(土)
13:00-16:00

問合せ先 diy.kumagaya2020@gmail.com (コトラボ合同会社)

会場 シェアカフェ☆イエイオー (熊谷市本町1-222)

主催 株式会社づくり熊谷 リノベーションまちづくり事業

熊谷 街・妄想・ワークショップ
— 街の快適さ向上をみんなで考えよう —

普段見慣れた街を、みんなで
ゆっくり歩いてみる。
そこで見えてきた魅力や課題を
洗い出し、こうすればもっと良い
街になるんじゃないか?
というアイデアを定期的にみんな
で創り出す。妄想から実行まで
街を楽しくする実験を行います。

市民、学生、企業、専門家など、さまざまな街や地域に関心のある人たちが集まり、街を自分たちが快適だと思える街へと変えていくワークショップ。

熊谷ならではのライフスタイルを見つける
QoL を高め、日常的に市民が活用する環境を目指す

WS の記録はこちらから→





1回目は、空き家班、水辺班、ストリート班の3つにグループを分けて実行
参加者は小学生から高齢者まで様々



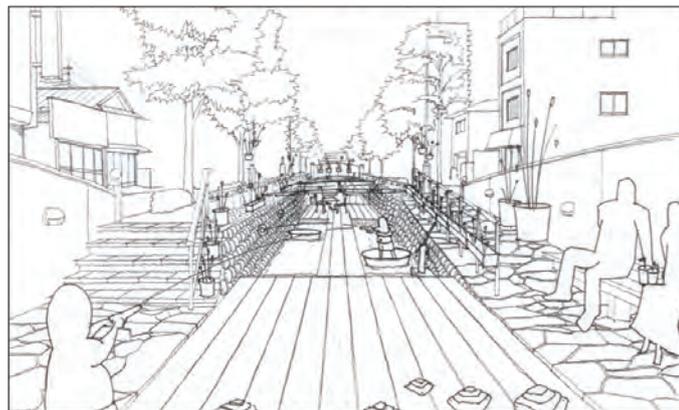
みんなで空き家を活用する
仕組みを検討



ワークショップを契機に連携して新たな小商をスタート



WSでスタートしたブックアパートメント。
棚オーナーが好きな本を展示販売。



中心地を流れる星川をアップデート
みんなで出したアイデアをイラストに



ワークショップで出てきたアイデアを実証実験として実際に地域で実行を行った。人があまり来ない星川を目的化させていくために、子育て世代をターゲットとし、公的空間の遊具化を行いながら場づくりを行った。



小さな一歩プロジェクト 福島県双葉町



2022年8月末に避難指示が解除された福島県双葉町で新たな地域経済を作るべく小商のコミュニティづくりを小さな一歩プロジェクトと称して2022年9月より実施。地元のニーズに応える形で地域で飲みニケーションができる環境づくりとして「ふたば飲み」イベントを実施。人口70名のところ130名が参加。

